

⑬ 公開実用新案公報 (U) 平1-58152

① Int. Cl.<sup>4</sup>

G 01 N 21/41  
21/43

識別記号

庁内整理番号

A-7458-2G  
7458-2G

⑥ 公開 平成1年(1989)4月11日

審査請求 未請求 (全3頁)

④ 考案の名称 液浸型屈折濃度計

⑤ 実 願 昭62-153382

⑥ 出 願 昭62(1987)10月8日

⑦ 考 案 者 中 島 吉 則 東京都板橋区本町32番10号 株式会社アタゴ内

⑧ 出 願 人 株 式 会 社 ア タ ゴ 東京都板橋区本町32番10号

⑨ 代 理 人 弁 理 士 縄 田 徹

⑩ 実用新案登録請求の範囲

台形プリズム10に温度センサー13を埋設せしめてこれをプリズムヘッド部2の検出窓部8にて全反射面10Aが露呈する如く屈折濃度計本体1内にカンチレバー17を介して水密に内装せしめると共に、対物レンズ21及び反射ミラー24を取付けて成る別設せる光学シャース15を鏡筒3及びプリズムヘッド部2と断熱的になる如くセンタリングキャップに一点宙吊りに支受せしめる一方、前記反射ミラー24の検出反射光を受ける如く、前記鏡筒3の壁面に縦方向にイメージセンサーを附設せしめた液浸型屈折濃度計。

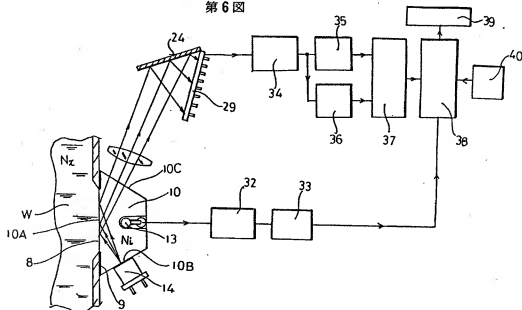
図面の簡単な説明

第1図は本考案装置の使用態様を示す全体側面

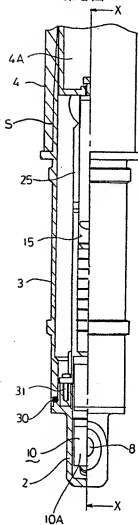
図であり、第2図は屈折濃度計本体の要部を示す一部縦断正面図、第3図は同じく第2図上X-X線部分の縦断右側面図、第4図は屈折濃度計本体の要部を示す一部縦断背面図、第5図は同じく検出部分を示す一部縦断底面図であり、第6図は検出部分と回路ブロックダイアグラムとの関係を示す構成説明図、第7図は全反射条件の原理を説明する概略説明図、第8図は第7図に対応する全反射強度分布を示すグラフ曲線図であり縦軸に全反射強度R、横軸に反射角θを採つてある。

2……プリズムヘッド部、3……鏡筒、8……検出窓部、10……基礎プリズム、13……温度センサー、15……光学シャース、17……カンチレバー。

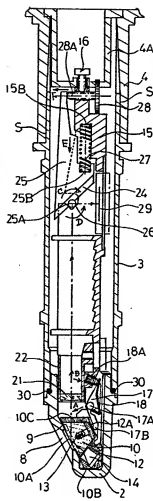
第6図



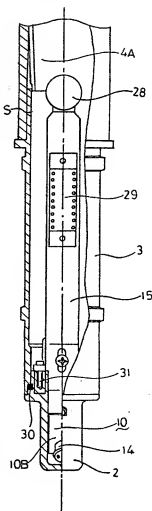
第2図



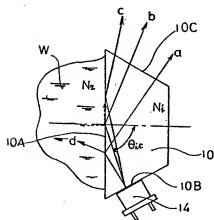
第3図



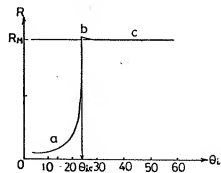
第4図



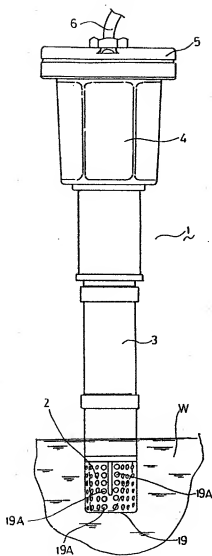
第7図



第8図



第1図



第5図

